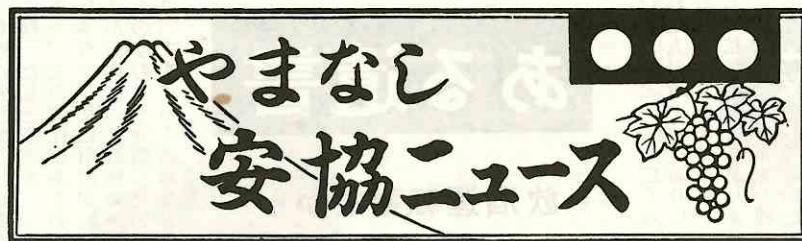


県下の交通事故(6月20日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
52年	1,878件	33人	2,472人
51年	1,846件	47人	2,449人
比較	+1.7%	-29.8%	+0.9%



△第36号△

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府(0552)37-7827

夏の夜は暴走と酒の事故が多い

このところ、毎年交通事故が減ってきていることはたいへん有難いことであります。全国的にも、また我が山梨県においても、数年連続して人の死亡者の多いことが減っています。ただ、我々は随分とやかましく言わっていますが、依然として減りません。「飲んだらハンドルを持たないで、タクシーなり、電車で帰れ」というのですが、それがなかなか守れないのであります。ここまでくれば、個人の心構えの問題であ

提 言

このところ、毎年交通事故が減ってきていることはたいへん有難いことであります。全国的にも、また我が山梨県においても、数年連続して人の死亡者の多いことが減っています。ただ、我々は随分とやかましく言わっていますが、依然として減りません。「飲んだらハンドルを持たないで、タクシーなり、電車で帰れ」というのですが、それがなかなか守れないのであります。ここまでくれば、個人の心構えの問題であ

技術よりも精神

なるペナルティー(罰)を与えて貰えなければなりません。また場合によっては、一生かかる付で負ふことなどがあります。これまでくれば、個々の心構えの問題であ

平井一満



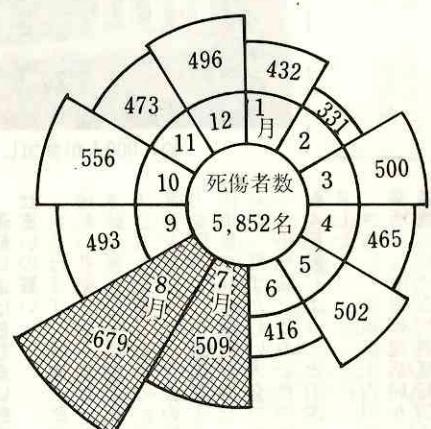
平井一満

このところ、毎年交通事故が減ってきていることはたいへん有難いことであります。全国的にも、また我が山梨県においても、数年連続して人の死亡者の多いことが減っています。ただ、我々は随分とやかましく言わっていますが、依然として減りません。「飲んだらハンドルを持たないで、タクシーなり、電車で帰れ」というのですが、それがなかなか守れないのであります。ここまでくれば、個人の心構えの問題であ

つて、運転以前の問題であると言つても過言ではないと思います。結果、言つても駄目なう何きつい方法をとらなければならぬと思いません。結局、運転する人と運転するの対話を

夏はこんなに事故が多い

(51年中の県下の月別事故)



高速道路、長距離運転の際に着用を徹底させたいものです。飲酒運転の絶滅のために、職場や地域での運転者教育が必要です。

「三ない運動」を推進することと、酒類提供業者の協力体制を強化する必要があります。

乗らない、乗るなら飲まない、乗るなら飲ませない」

は、家庭、地域、職場での話し合いにより「飲んだら

乗らない、乗るなら飲まない」

の「三ない運動」を推進す

ることと、酒類提供業者の協力体制を強化する必要があります。

警察では、この運動の期間中交通五悪(速度違反、歩行者妨害、優先者妨害)の取り締まりと、夏に多い暴走族に対して検挙第一主義

の強い取り締まりを行いま

す。

なお、交通安全「愛の一

声運動」も推進し、いつで

も、どこでも、だれにでも

一愛の一声を励行するよ

う呼びかけます。

暴走はしないさせないゆるさない



暴走族の集合や暴走行為を見た時は110番へ!

山梨県交通安全対策本部
山梨県警本部

との対話なのである。同じように、道に乗り出したての対話は、まず、道路の線形や幅員や路面の様子から始まる。雨が降り出しても、次にどんな場面が現わらなければならない。

対話は、まず、道路の線形や幅員や路面の様子から始まる。雨が降り出しても、車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。だが、いちばん大事な対話は、他の車とどちらの会話なのである。もちろん、歩行者や自転車とだって、話しかけが必要なのである。

夜間走る場合でも、ドライバーは夜と会話をしなければいけない。だが、いちばん大事な対話は、他の車とどちらの会話なのである。もちろん、歩行者や自転車とだって、話しかけが必要なのである。

夜間走る場合でも、ドライバーは夜と会話をしなければいけない。だが、いちばん大事な対話は、他の車とどちらの会話なのである。もちろん、歩行者や自転車とだって、話しかけが必要なのである。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。だが、いちばん大事な対話は、他の車とどちらの会話なのである。もちろん、歩行者や自転車とだって、話しかけが必要なのである。

は、自動車なんかくなってしまえ!おとうさんをかわしてくれ……」と叫ばしめているではありませんか。

県安協では、「交通事故の絶滅をめざして」の実行を始めた。地

方たちが、尊いエネルギーを犠牲とされて、日夜交

通安全の確保に出動された交通安全部

の対話なのである。同じように、道に乗り出した

ての対話なのである。同じように、道に乗り出したての対話は、まず、道路の線形や幅員や路面の様子から始まる。雨が降り出しても、車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

対話は、まず、道路の線形や幅員や路面の様子から始まる。雨が降り出しても、車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

「自動車なんかくなってしまえ!おとうさんをかわしてくれ……」と叫ばしめているではありませんか。

県安協では、「交通事故の絶滅をめざして」の実行を始めた。地

方たちが、尊いエネルギーを犠牲とされて、日夜交

通安全の確保に出動された交通安全部

の対話なのである。同じように、道に乗り出した

ての対話は、まず、道路の線形や幅員や路面の様子から始まる。雨が降り出しても、車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

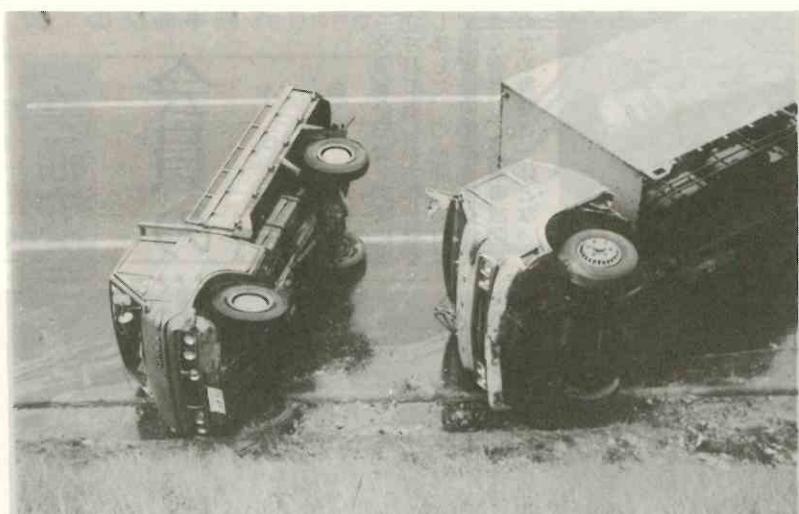
車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。

車同士の間でも、相手の心も相手に、十分に伝わっていくようにならなければいけない。



雨中の追い越しでスリップ～横転



近々委員会発足

自転車安全教室に出席します。

この教室は、小・中学校の児童、生徒をはじめ、地元のお母さん方や、老

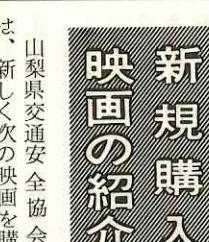
最近、バイクロジィ運動の進展に伴って、自転車が著しく普及し、そのため、自転車事故が多発していま

出席します。

自転車安全教室に

A型は白
B型は黒
AB型は白
信過剰

血液型と交通事故



六月から七月にかけては梅雨前線の活発化に伴い、日本列島がスッポリと雨の中に包まれます。雨降りとあのジメジメした湿気は、肉体的に不快感を与えるばかりでなく、精神的にも憂うつで、心のゆとりを欠き不快なイラクを起こさせます。また、降雨による運転者の視界、視力の妨害、路面とタイヤの摩擦条件の急

変、路肩軟弱等の悪条件も重なり、事故多発の原因になっているのです。そこでドライバーの雨日の注意事項を挙げてみました。

雨の日は、急ぐ心が事故を生む

車を運転中に雨が降り出しても、決してあせってはいけません。雨が降ると、道路はすべりやすくなりすぎたり、イライラ運転をしてはいけません。

スリップ・転落に注意

雨の日の運転は慎重に

この事故の反省点として

①下り坂で雨のためスリップしやすい状態のうえ、カーブしているときは当然手前で減速してエンジンブレーキを使用して運転すべきであった。

②スリップしたときは、まずハンドルをスリップし方へ少しきりながら、軽く数回ブレーキを踏み、スリップを防ぎながら停止するべきであった。

③雨の日は、速度を落とし、車間距離を十分とて、慎重に運転し、急ハンドルや急ブレーキは絶対さけるべきである。

走るより止まる勇気

この現象をさけるには、降雨時や水たまりの道では必ず減速することです。

走ることより、勇気が大切です。

止むべく、歩行者や店先などを通るときは、速度を落とし、泥水をはねないようにしなければなりません。

歩行者は傘をさし、足りるときに気をとられ、車や信号に対する注意怠りがち

るのは危険です。

(7)深い水たまりを通ると

歩行者は傘をさし、足りるときに気をとられ、車や信号に対する注意怠りがち

るのは危険です。

○道路の左側に車を寄せてとまる。

○エンジンをとめる。

○ラジオで情報を聞く。

○近くに駐車場、空地がある場合はそこに入れましょう。

○現場の警察官の指示にしたがって行動しましょう。

（A型の人）反射神経、判断力が鋭い。車両相互事故のトップを占め、追越、横断、転回、左折時の事故が多い。また睡眠不足に弱く、未明から早朝によく事故を起こしている。

（B型の人）気が短く、大まか不用心で慎重に欠ける。とくにわかり見運転や雨天時の事故が多い。運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

運転者に対する安全意識が低く、歩行者に対する安全意識が高まっている。

運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

運転経験一年未満の初心者の事故率が高く、歩行者では車の直前直後の飛び出しによる事故が多い。

